

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル 屋外ラベル 白色
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: リテール事業本部 品質・環境マネジメント
 電話番号: 0120-56-1147

2. 危険有害性の要約

GHS分類: 分類対象外、区分外、または分類できない
 ラベル要素
 絵表示: なし
 注意喚起語: なし
 危険有害性情報: なし
 取り扱い注意
 予防策: 取り扱い中は、必要に応じて防塵マスク、保護手袋を着用してください
 使用前に SDS をご参照ください
 対応: 吸入した場合には、直ちに、医師の手当てを受けてください
 皮膚に付着した場合、付着部を大量の水と石鹼で洗い流してください
 眼に入った場合、流水で十分に洗浄の上、医師の診断を受けてください
 万一、飲み込んだ場合には、うがいをし、医師の手当てを受けてください
 保管: 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管してください
 廃棄: 廃掃法及び地方条例に従って、産業廃棄物として適切に処分してください

3. 組成及び成分情報

単一品・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: 印刷用紙

化学名	官報公示 整理番号	CAS番号	含有量 (重量%)
剥離紙	対象外	対象外	60 - 70
PETフィルム (酸化チタン*10%未満含有)	対象外	対象外	20 - 30
粘着剤組成物	対象外	対象外	1 - 10

*: 第15項 適用法令をご参照ください

4. 応急措置

吸入した場合: 通常ありえない。万一、吸入した場合は、新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にさせる。必要に応じて、医師の手当てを受ける
 皮膚に付着した場合: 付着部を大量の水と石鹼で洗い流す。痛みが残ったり、違和感を覚える場合は、医師の処置を受ける
 眼に入った場合: 目をこすったりせず、流水で十分に洗浄した後、医師の診断を受ける
 飲み込んだ場合: 通常飲み込むことは、ありえない。万一、飲み込んだ場合は、うがいをし、医師の手当てを受ける

作成日: 2019年8月30日
 改訂日: 2025年6月10日
 確認日: 2025年6月10日

5. 火災時の措置

消火剤:	霧状水、粉末消火器及び泡消火器等を使用する
消火方法:	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する 消火作業は可能な限り風上から行う
消火を行う者の保護:	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する 燃焼ガスには、一酸化炭素等のほか、窒素酸化物系のガスも含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	
保護具及び緊急時措置:	適切な保護具(手袋等)を着用する
環境に対する注意事項:	環境影響に係わる情報は、今のところ無い
封じ込め及び浄化の方法・機材:	特に指定なし

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:	火気のある場所では取り扱わない。適切な換気、排気装置のもと、適切な保護具(防塵マスク等)を着用し作業すること 長袖の作業衣及び保護手袋を着用すること。また、必要に応じて保護眼鏡を使用すること
注意事項:	取り扱い後、手洗い、うがいをする
保管	
技術対策:	火気厳禁
適切な保管条件:	直射日光、高温多湿を避け、風通しの良い冷暗所にて保管する
接触禁止物質:	強酸化性物質

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	粉塵を発生させるような取り扱いをする場合には、密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する
ばく露限界値:	未設定
許容濃度:	日本産業衛生学会(2018) セルロース 第三種粉塵 2mg/m ³ (呼吸性粉塵) 8mg/m ³ (総粉塵) 酸化チタン 第二種粉塵 1mg/m ³ (呼吸性粉塵) 4mg/m ³ (総粉塵) ACGIH(2016) セルロース 10mg/m ³ 酸化チタン 10mg/m ³
測定方法:	JIS Z 8813に従って浮遊粉塵濃度を測定する
生物学的許容値:	情報なし
保護具	
呼吸器の保護具:	粉塵作業時には、防塵マスクを使用する
手の保護具:	必要に応じて、保護手袋を使用する
眼の保護具:	必要に応じて、側板つき保護眼鏡、保護面を使用する
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	白色のシート
臭い:	なし
分子量:	データなし
沸点:	データなし
引火点:	データなし
発火点:	データなし
爆発範囲:	非該当
蒸気圧:	非該当
揮発性:	なし
比重:	約0.9～1.0
溶解度:	水に対して溶解性なし
オクタノール/水分配係数:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の取り扱い条件において安定
危険有害性:	不完全燃焼に伴う一酸化炭素等の有害性ガスの吸入危険有害性
反応可能性:	自己反応性なし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口:	データなし
経皮:	データなし
吸入:	データなし
皮膚腐食性/刺激性:	データなし
発がん性:	データなし
変異原性:	データなし
生殖毒性:	データなし
催奇形性:	データなし
代謝:	データなし

12. 環境影響情報

環境中の挙動:	データなし
生物毒性	
魚毒性:	データなし
甲殻類毒性:	データなし
藻類毒性:	データなし
分解生:	データなし
生体蓄積性:	データなし
環境基準	
水質汚濁に係わる環境基準:	データなし
土壌の汚染に係わる環境基準:	データなし
大気の汚染に係わる環境基準:	データなし

13. 廃棄上の注意

少量の場合 廃掃法及び地方条令に従って産業廃棄物として適切に処分する
 大量の場合 廃掃法及び地方条令に従って産業廃棄物として適切に処分する

14. 輸送上の注意

国連分類:	分類なし
国連番号:	付与なし
海洋汚染物質:	情報なし
港則法:	情報なし
船舶安全法:	情報なし
航空法:	情報なし
輸送時の安全対策及び条件:	特別の注意事項なし

15. 適用法令

労働安全衛生法 表示対象物質/通知対象物質 酸化チタン

16. その他の情報

新しい知見の発表や従来説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出展等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

記載内容は当社の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者様各位の責任において安全な使用条件を設定してくださいよう、お願いいたします。また、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。当製品SDSは、日本国内法規を基準に作成したものです。